

ニューspark(日本新聞博物館)

ご利用案内

中学校・高校用



現代のデジタル社会の中では、情報に振り回されるのではなく、確かな情報を見きわめ、活用していく情報リテラシーの力が大切です。新型コロナウイルスをめぐる情報では、まさにそれが問われています。

日刊新聞発祥の地・横浜にあるニューspark(日本新聞博物館)は、展示やプログラムを通じて、新聞の歴史を理解するとともに、現代の情報社会を「森」に例えて、その中を冒険しながら、確かな情報を見きわめる力を育むお手伝いをします。

【感染防止のため、引き続き下記の対策を実施しています】

- 受付、館内、お手洗いなどにアルコール消毒液を設置
- 受付へのアクリル板の設置

【感染防止のため、下記についてご協力お願いいたします】

- 生徒や教員に発熱や咳などの風邪症状がある場合は来館をご遠慮ください
- 団体プログラム参加時にはマスク着用をお願いすることがあります

【その他のお願い】

- 館内は原則として飲食禁止
- メモをとるときは鉛筆
- 写真撮影は原則として常設展示室のみ可

★★★詳しくはお問合せください★★★

常設展示

確かな情報の大切さを学ぶ

資料約 200 点を使って新聞の歴史を紹介する「新聞のあゆみ」、現代の情報社会のあり方と新聞・ジャーナリズムの役割を学ぶ「情報社会と新聞」、新聞が届くまでの流れが分かる「新聞を知ろう」という3つのゾーンで構成しています。歴史と現代の両面から、確かな情報の大切さと新聞の役割を学ぶことができます。2022 年 3 月には「情報の森の冒険(クエスト)」をテーマに、情報との接し方をより実践的に学べるよう常設展示を一部刷新しました。



新聞のあゆみ



情報社会と新聞



新聞を知ろう



学びをサポート

取材体験ゲーム

「横浜タイムトラベル」

タブレット端末を使ったゲーム。選択式の操作で、横浜の歴史を取材し、新聞づくりを体験します。



サブテキスト「情報の森 冒険の手引」

情報との接し方を紹介した冊子をお配りしています。ニュースパークで聞いた内容を、学校やご家庭で読み返すことができます。



新聞博物館学習キット(新博キット)

学校で授業や調べ学習に使えるよう、資料や新聞記事をテーマ別にまとめた貸し出しキットがあります。神奈川県司書教諭、学校司書の協力を得て作成しました。また、新聞閲覧室で配架を終えた新聞約 120 紙(新聞協会加盟新聞)も提供しています。

展示解説

常設展示室の展示内容をご説明します。

団体向け プログラム

学習指導要領に即した学び 要予約 所要時間60分

新聞レクチャー

記者出身の新聞製作マネジャーが「文章の書き方」「新聞の読み方」「情報産業としての新聞」などを解説します。

また、学校で作った新聞をお持ちいただければ、紙面構成、見出し、記事についてアドバイスします。

記者の実体験を交えて新聞作りのノウハウを伝え、子供たちの表現力を伸ばします。校外学習等のまとめで新聞づくりを行う際にも役立ちます。

【レクチャーのテーマ】

「新聞の作り方を学ぼう(※)」「新聞を読もう」「情報産業としての新聞」「目指せ！新聞博士」「新聞クリニック」

[人数] 最大40人

※このプログラムでは新聞製作体験は行いません。

取材クルーズ

子どもたちが記者となってニュースパークの常設展示を取材するプログラムです。展示を見るだけでなく、職員の展示解説を聞き対話しながらワークシートに取り組むことで、より理解を深め学習効果を高めます。

■Aコース「歴史から学ぶ情報と新聞」+「情報の森の冒険」

■Bコース「情報の森の冒険」+「新聞が届くまで」
[人数] 20人程度

※ワークシートはニュースパークのウェブサイトからダウンロードいただけます。

+15分 展示解説 「情報の森の冒険」

情報リテラシーを学ぶ展示「情報の森の冒険」を約15分でご案内します。プログラムや自由見学と組み合わせてご利用いただけます。

パソコンで新聞づくり

パソコンを使って新聞を作るプログラムです。

100字の記事を入力し、見出しを付け、記念写真をレイアウトすれば、オリジナル新聞の完成です。刷り上がった新聞を記者出身の新聞製作マネジャーが講評します。

[人数] 最大40人

班別行動の見学場所を探している先生方へ

班別行動でも、同時刻に人数がまとまれば、プログラムを利用可能な場合があります。

また、班ごとに個人向け体験プログラム「マイ新聞づくり」(所要時間20分)を体験いただく準備をいたしますので、事前にご相談ください。

キャリア教育 職場体験 お受けします

中学生の職場体験受け入れを中心に、キャリア教育もサポートいたします。社会との関わりや仕事について考える機会を提供することで、生徒自身が体験し、自ら学ぶ姿勢を応援します。

総括として、体験した内容を記事(100文字)にして、「マイ新聞」を作ります。

職業講話(出前授業、オンラインでも)も可能です。

[受け入れ可能人数] 6人

《体験メニューの例》

- 9:30 1階輪転機前集合
- 9:40 事務所で朝礼同席
- 9:45 業務の概要説明・学芸員の仕事紹介
- 10:10 新聞を使ったワークショップ
- 10:40 館内全体見学
- 11:00 パソコンで新聞づくりサポート
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 取材体験ゲームサポート
- 14:00 新聞配架サポート
- 14:30 マイ新聞づくり、総括

※当日の予約状況などによって内容が変わります。

昼食場所のご案内

校外学習でお越しいただく団体の方は、昼食場所として3階の多目的ルーム(写真)をご利用いただけます。事前予約制となりますので、見学とあわせてお申し込みください。

【利用可能時間】

- ①11:00~11:30 ④12:30~13:00
- ②11:30~12:00 ⑤13:00~13:30
- ③12:00~12:30 ⑥13:30~14:00

【収容人数】 最大40人

- ・40人以上の団体の場合はグループ分けしてください
- ・学校団体に限りご利用いただけます
- ・少人数でのご利用の場合は他校と同時利用となることがあります
- ・ご利用時間内は、引率責任者の先生が常駐してください
- ・昼食後の清掃にご協力ください



見学のお申し込み

電話でお申し込みください。スタッフがご希望の内容を伺い、予約状況を確認します。その後、メールまたはファクスで予約申込書をお送りします。

【お申し込み／お問い合わせ先】

TEL: 045-661-2040

(受付時間 10:00~17:00)

- ・下見を希望される場合は、電話でご予約のうえご来館ください。入館料は無料です
- ・当館専用の駐車場はありません。貸切バスでお越しになる場合は、事前に横浜情報文化センター駐車場をご予約ください(横浜情報文化センター管理事務所 電話:045-664-3737)
- ・各教科の研究会など、教育関係者の会合にも会場を貸し出しています



みなとみらい線「日本大通り」駅3番出口に直結しています。同じ建物内には「放送ライブラリー」があるほか、神奈川県庁まで徒歩約3分、神奈川県警まで徒歩約7分です。

【開館時間】 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】 月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は次の平日)、12月29日~1月4日

【入館料】 中学生以下無料、一般400円、大学生300円、高校生200円

- ・20人以上の団体は100円引き
- ・校外学習の引率の先生方は、学生・生徒・児童と同じ料金で入館いただけます
- ・障害者手帳をお持ちの方と、付添の方お一人は無料です

【アクセス】

- ・電車でお越しの方 みなとみらい線「日本大通り駅」3番情文センター口直結
JR・横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩10分
- ・車でお越しの方 首都高速「横浜公園出口」から約3分

 **ニュースパーク**
日本新聞博物館

〒231-8311

神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター

電話 045-661-2040 FAX 045-661-2029

<https://newspark.jp>

